

年間授業計画

日本橋 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語文法演習

教 科： 外国語 科 目： 英語文法演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（『Next Stage[ネクステージ]英文法・語法問題 4th edition』）

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方やコミュニケーションをとるための知識・技能を習得する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を適切に結び付け、コミュニケーションをとれる思考力、判断力、表現力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語によるコミュニケーションを積極的に取ろうとし、また、その能力を養おうと努力する。

科目 英語文法演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語によるコミュニケーションにおける日本語との違いや、相手に正しく伝わる英語、特に文法事項について理解し、その知識を活用してコミュニケーションをとる技能を身につけられる。	英語で読んだり聞いたりした内容に基づいて、相手に正しく伝わる英語、特に正しい文法を意識して、書いたり話したりすることができる。	英語でコミュニケーションを取ることに意欲を持ち、相手に正しく伝わる英語について興味・関心を持って学習に粘り強く取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Part1 文法 第1章 時制 さまざまな時制の使い分け 第2章 態 能動態と受動態の違い 第3章 助動詞 各助動詞の使い分け 各文法事項について正しく理解し、その知識を活用してコミュニケーションをとることができる。 Part3 イディオム 第20章 頻出基本イディオム 第21章 動詞を含むイディオム イディオムを覚え、場面に応じて活用できる。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 必要に応じて補助教材（『表現のための基礎英語構文ノート86』）を活用し、表現力を伸長させる。 Part3については家庭学習を中心とし、毎回の小テストで学習成果の確認を行う。		○			○	単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA、十分に達成していると考えられる場合はB、B未満はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○	○	1
	Part1 文法 第4章 仮定法 直説法と仮定法の違い 第5章 不定詞 不定詞の3用法を含むさまざまな用法上の注意点や使い分け 第6章 動名詞 動名詞の基本用法とその応用 各文法事項について正しく理解し、その知識を活用してコミュニケーションをとることができる。 Part3 イディオム 第22章 形容詞・副詞を含むイディオム 第23章 名詞を含むイディオム イディオムを覚え、場面に応じて活用できる。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 必要に応じて補助教材（『表現のための基礎英語構文ノート86』）を活用し、表現力を伸長させる。 Part3については家庭学習を中心とし、毎回の小テストで学習成果の確認を行う。		○			○	単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA、十分に達成していると考えられる場合はB、B未満はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。	○	○	○	10
	定期考査			○			○		○	○	○	1

[illegible]